

第 28 回（教育）分科会報告書

1. 開催日時：平成 28 年 10 月 28 日（金） 15：30～17：00
2. 開催場所：社会福祉協議会 3F 会議室
3. 参加者（所属のみ）

筑後特別支援学校、ふるさと、南筑後保健福祉環境事務所、さら、八女総合療育館、みんなの館、あるくとぷらす、つくし園、HIRO キッズ、南中学校、福島高校、八女市（福祉課、学校教育課）、リーベル

4. 実施内容

○事例検討

○事例 『学校、放課後等デイサービス、計画相談、医療機関の連携』

N 副座長より事例紹介の趣旨を説明し、びいちゃむ N 女史、リーベル U 氏より報告を行った。小学校入学を機に放課後等デイサービスにつながった経過、本人の特性に応じた支援を行うため、事業所から医療機関や学校に足を運んで連携を行う等、関係機関が協働することで前進をみせた事例であり、連携の意義を再確認した。



○個人ワーク

事例紹介をもとに、以下の 4 点についてワークシートを作成した。

- ①サービス提供事業者は学校からどのような情報を得たいと思っているか
- ②学校はサービス提供事業者からどのような情報を得たいと思っているか
- ③共生社会（地域交流や他機関連携）に関する取り組みを行っているか
- ④課題を抱える家庭への支援を行っているか

○グループワーク

4～5 名のグループを構成し、ワークシートの 4 点について意見交換を行った。①②については、双方一現場では見えない面を見たい、知りたいとの意見が寄せられた。パニック状況やそれぞれの取り組み状況、また児童本人のみではなく、親のキャラクターや考え方等についても知りたい事項として挙げられた。共生社会に関連する取り組みとしては、気軽に立ち寄れるよう事業所を開放している例や、ハロウィンの企画で地域住民の協力を仰ぎ実施している報告があった。



30 分程度のグループワークであ

り、もっと意見交換する場が欲しいとの声があり、最後のA座長のまとめにおいて、放課後等デイサービスのガイドラインを軸に集まって話せることが大切であることが伝えられ、八女地区はそれぞれに連携への意識が高い点に特徴があることが確認された。アンケートの中でも情報共有の機会をもちたいとの意見が多数あり、今後の分科会で取り組んでいくべき事項である。

